

平成19年度 JCOMM賞の受賞者発表



JCOMM実行委員会では、平成19年3月末までにご応募・ご推薦をいただいた取り組み・研究の中から、平成19年度JCOMM賞の各賞受賞者を選定いたしました。対象者には、第二回JCOMMにて表彰を行います。

JCOMM AWARD マネジメント賞

「かしこいクルマの使い方を考えるプロジェクト京都」
京都府

「大分市を中心とする地域における公共交通転換可能性調査事業」

公共交通機関利用促進対策事業調査実施委員会
(大分バス(株)・大分交通(株)・(社)大分県バス協会・大分県企画振興部総合交通対策課・大分市都市計画課都市交通対策課・東京工業大学藤井聡・(株)ケーシーエス九州支社)

JCOMM AWARD デザイン賞

「福岡における『かしこいクルマの使い方』を考えたプログラム情報グッズ群」

小椎尾優(前国土交通省九州地方整備局福岡国道事務所計画課(現国土交通省九州地方整備局道路部地域道路課))、中村俊之・北村清州・須永大介・牧村和彦(財)計量計画研究所)

「wap(和歌山都市圏公共交通路線図)」
WCAN交通まちづくり分科会マップチーム

JCOMM AWARD 技術賞

「健康歩行量TFPIに向けた技術開発」

(受賞研究業績 = 中井祥太・谷口守・松中亮治・森谷淳一;健康意識に基づく万歩計を用いた歩行量TFPIの実施効果分析, 第一回日本モビリティ・マネジメント会議, 2006, 他)
中井祥太(前岡山大学大学院(現福岡地所株式会社))

JCOMM賞についての情報は、HPにも掲載しております。各賞の概要や詳細等はHPをご覧ください。(http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/jcomm.html)

七月二十七日、二十八日に札幌コンベンションセンターで開催される第二回JCOMMまで、あと一ヶ月となりました。
今回も第一回を超える六十五編の発表申し込みをいただいています。下記のとおり、プレイベント、オープニングセッション、ポスター・口頭発表



など多彩なプログラム構成となっております。ぜひご参加の上、MMの情報交換の場としてご利用ください。



日本モビリティ・マネジメント会議
ニュースレター

Vol.4 ● 2007.6.25

【発行】 JCOMM実行委員会
ニュースレター編集部
【お問合せ】 東京工業大学 藤井研
筑波大学 都市交通研
mail: jcomm@plan.cv.titech.ac.jp

MMに関連する会告掲載希望やご意見等、随時受け付けております。

イベント案内

第二回JCOMM参加申し込みの締切について

第二回JCOMM参加申し込みの締切が迫って参りました。発表者の方にも、参加申し込みをお願いしております。

まだ参加のご登録を頂いていない方は、下記の項目を明記の上、事務局までお申し込み下さい。

締切:二〇〇七年七月六日(金)
①氏名、②所属/勤務先、③連絡先(住所、tel、email)を明記の上、事務局(jcomm@plan.cv.titech.ac.jp)まで。

第二回 JCOMM in 札幌コンベンションセンター プログラム(速報)

1日目 7月27日(金)

09:00-	レジストレーション
10:00-12:00	プレイベント 詳細が決まりましたら、HPでご案内いたします
13:00-14:50	オープニングセッション 開会挨拶、講演、JCOMM賞各賞授賞式
15:00-16:00	口頭発表 モビリティ・マネジメント行政の展望 ID: O-01 ~ O-03
16:00-17:00	ポスター発表A ID: PA-01 ~ PA-16
17:00-18:00	ポスター発表B ID: PB-17 ~ PB-31
ポスター発表A・B時間中、平成19年度JCOMM賞受賞者の展示も同時に行います。	
18:30-	懇親会

2日目 7月28日(土)

09:00-	開場
9:20-10:40	口頭発表 モビリティ・マネジメントとまちづくり ID: O-04 ~ O-07
10:50-12:10	口頭発表 モビリティ・マネジメントの大規模展開 ID: O-08 ~ O-11
13:10-14:10	ポスター発表C、ブースセッション ID: PC-32 ~ PC-47
14:20-15:20	口頭発表 職場モビリティ・マネジメント ID: O-12 ~ O-14
15:30-16:30	口頭発表 モビリティ・マネジメントの新しい展望 ID: O-15 ~ O-17
16:30-16:45	クロージングセッション 開場時間中、平成19年度JCOMM賞受賞者の展示も同時に行います。

ニッポンのMM 第三回 転入者対象 のMM

今回は、効果が高く、実施しやすい転入者を対象としたMMを紹介する。

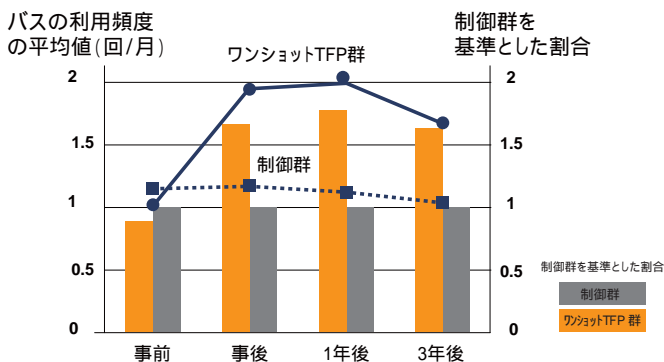
MMは、適切に行えば自動車の抑制、公共交通の利用促進が期待できる政策である。そのなかでも転入者を対象としたMMは、対象者の情報取得意欲が高いため効果が大きい。図は、二〇〇一年に大阪府吹田市役所の転入届けの受付窓口で、公共交通マップなどを配布したワンショットTFPのバス利用促進効果を示している。制御群は月間のバス利用頻度は変化していないのに対して、ワンショットTFP群は、月間のバス利用頻度が八〇%増加した。しかもその効果は三年後も継続していた。

転入者MMを実施する際、市町村の役所のいずれかの部署でMMに活用できる地図がすでに作られていれば、転入届の窓口で配布するのは、役所内部の調整だけで済む。さらに、環境面や健康面などの動機付けシートとセットで配布するとより効果的である。平成十九年度現在、龍ヶ崎市ではこの好事例で、継続的に転入者MMを実

施できる体制を作っている。もし、適切な地図がなければ、役所だけではなく交通事業者や地域NPOなどと協力して公共交通マップなどのコミュニケーションツールを作成し、継続的に窓口で配布できるように、協力体制を整えておくことが必要になる。

いまこの瞬間にも、公共交通の情報が必要としている転入者が窓口には並んでいる。この好機を逃さず、わかりやすい情報を適切なタイミングで行う転入者MMが、多くの自治体で広がっていくことを期待している。

(大阪大学・松村暢彦)



どんな人が、どう変わる？ —MMによる交通行動変容例— vol.1

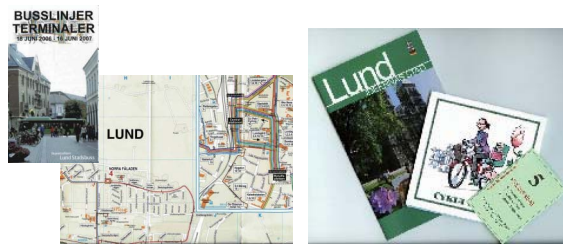


※福岡国道事務所が実施した居住者対象MMにおける実際の行動変容例を基にイメージ化したものです

会議には欧州全土、米国、日本から約三百人が参加し、オープニングスピーチ、シナリオワークショップ、ランチ、テクニカルツアーなど様々なイ



ポスターセッションの様子



ECOMMでの配布物：
左より、ルンド市内のバスマップ、観光案内、自転車道マップ、鉄道駅から会場までのバス時刻表

イベント報告 第十一回 欧州モビリティ・マネジメント ント会議(ETCOMM)

去る五月九日から十一日、スウェーデンのルンド市にて第十一回欧州モビリティ・マネジメント会議が開催されました。ルンド市はデンマークのコペンハーゲンより電車で一時間程度のところに位置し、小規模ながら大学を中心とした美しいまちです。

イベントが行われ、それぞれに活発な議論が交わされていきました。感心したのは、レジストレーション後に配布される資料一式のフォルダに、ルンド市の公共交通マップ、自転車道マップ、観光案内、鉄道駅から会場のホテルまでのバス時刻表が入っていたことです。ここでも来訪者向けのモビリティ・マネジメントが行われていました。

二〇〇八年はロンドンで開催されること。道路課金、コンジマスチオン・チャージング」導入という構造的方略に組み合わせて、大規模な心理的方略「個人対象トラベルプラン(TFP)」が実施されている地域です。こちらもなかなか楽しみです。



ツアー後はルンド駅直結の地下駐輪場に返却(右写真)

テクニカルツアーは市内自転車めぐり(左写真)

